

クラス番号	620	担当教員名	岡 多枝子
テーマ	福祉教育・ボランティア・地域福祉・子どもの育ち — 学校教育に「ふくし」の理念を —		
著書・論文 研究課題等	<p>著書「高校福祉科と介護福祉マンパワー」田村真広・保正友子編著『高校福祉科卒業生のライフコース—持続する福祉マインドとキャリア発達』ミネルヴァ書房 2008（共著）／「福祉科の学習指導」硯川眞旬・佐藤豊道・柿本誠編著『福祉科教育法』ミネルヴァ書房 2004（共著）／『『生きる力』輝け—若者たちへのエール—』WWR 研究会編『「ひとり」を支える女性たち』学文社 2004（共著）／「高等学校福祉教育における『総合的な学習』の一実践」大坪省三編『福祉社会を創る—社会人学生たちの挑戦—』学文社 2002（共著）</p> <p>論文「高校時代の進路選択から見た高大接続福祉教育」日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要 2010／「大学における社会福祉教育としてのサービスマーケティング」ふくしと教育 2010／「福祉系高校生の入学動機と進路決定」日本福祉教育・ボランティア学習学会研究年報 2007</p> <p>研究課題</p> <p>① 高校福祉科教員や中社公民、特別支援学校教員、スクールソーシャルワーカー、教育ボランティア、教育インターンシップ、メンターなど学校・教育実践、地震対策や防災教育、総合学習</p> <p>② 子どもを巡る福祉課題と支援（児童虐待や子どもの貧困、しょうがいなど福祉的支援）</p> <p>③ 性教育、学力づくり、サービスマーケティング、KJ法、キャリア教育</p>		

ゼミナール概要

キーワード：高校福祉科教員、特別支援学校教員、子ども支援のできる社会福祉士、福祉教育、ボランティア、スクールソーシャルワークの分かる教員・福祉職、KJ法、サービスマーケティングの研究、NPO

目的、内容、方法等：

- ① 高校福祉科教員や中学社会科・高校公民、特別支援学校教員、スクールソーシャルワーカー、教育ボランティア、教育インターンシップ、メンターなど学校教育にかかわる専門職の専門性の追求やネットワーク、地震対策や防災教育、総合的な学習の時間の計画と実施などを通して、多文化共生時代の「専門と教養」教育に関する実証的研究と調査を行う
- ② 子ども虐待や貧困、しょうがいなどに関する現代日本の福祉的課題とその支援のあり方を考察するとともに、現地調査や当事者の子どもとともに取り組む教材づくりなど、ゼミ生の問題関心に沿った研究実践を行う
- ③ 幼稚園・保育所・小学校・中学校・高校・大学という子どもの育ちに重要な意味をもつ場において、福祉教育と特別支援教育に関する実践的研究や現地調査・教育ボランティア・教育インターンシップ

授業計画：

- ① 上記の内容を、ゼミ生の興味関心や希望を出し合いながら進めていく
- ② 岡ゼミの上級生（4年生）や下級生（1・2年生）との合同の学びの場を多く設けて、異年齢や多様な学生同士の学びあいを深める。例えば、2011年度は前期に「日本福祉大学社会福祉学会」「福祉教育研究フォーラム」「福祉教育研究フォーラム高校生と大学生の集い」などへの参加と交流を行った。後期は「日本福祉教育ボランティア学習学会」「京都合同ゼミ合宿とKJ法ワークショップ」など多様な場において、人々との出会いやプレゼンテーションの経験を積む
- ③ 3年生から2年間をかけて卒業論文のテーマ設定と先行研究概観、ゼミでのディスカッションを通して論文作成に取り組みます。
- ④ 4年生は進路（就職活動・大学院進学）や教育実習への支援を行います。

担当教員からのメッセージ



いま、子どもを巡る反福祉的な状況（虐待・貧困・しょうがいへの不適切な対応・低学力など）が深刻さを増しています。岡ゼミでは、学内（ゼミ・図書館）での理論的な学びと、学外（福祉課題の現場や学会など）での実践的な調査や活動を統合した研究を重視しています。ぜひ、積極的に学び、仲間や教員と話し合い、充実したゼミを創造してください。また、教員やスクールソーシャルワーカーを目指す人には、教育実習や教員採用試験の対策、社会福祉士などの資格取得を目指す人には国家試験対策に関する相談・支援も行います。気軽に研究室に顔を出して相談してください。本ゼミから、日本福祉大学始まって以来の「愛知県立高校教員（福祉科）現役合格者」を出しました。皆さんもご自分の夢を実現してください。